



㊦ふる里市。出来たてのじゃこ天をどうぞ ㊧献花する岡本町長 ㊨たくさんの観客の前で義農太鼓を披露



今すぐ Check!
QRコード

義農作兵衛の遺徳をしのいで 平成31年度義農祭

享保の大飢饉の際、後世に麦種を残すため、自らの命を犠牲にした義農作兵衛の遺徳をしのぶ「義農祭」は4月23日、義農公園で開催しました。

式典では、岡本町長が「作兵衛翁が命に代えて種を守り通したはだか麦は、松前町にとって特別な産品。今後はだか麦とともに松前町を広くPRし、町民の皆さんが誇れるまちづくりを進めたい」と述べた後、参列者が献花を行いました。

式典後、特設ステージでは完熟一期座による「あっぱれ作兵衛」の公演のほか、松前小学校の児童による義農太鼓と伊予万歳が披露され、会場を盛り上げました。一方メイン会場では「ふる里市」を開催。町内をはじめ伊予市で生産された海産物や野菜などを販売し、たくさんの買い物客でにぎわっていました。

義農祭当日の様子は、左のQRコードから町の公式YouTubeチャンネルで見ることができます。

平井屯さんに環境大臣表彰 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

「平成31年度『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰式」は4月17日、環境省で行われ、本町から平井屯さん＝昌農内＝が環境大臣表彰を受賞しました。

平井さんは、40年以上に渡り松前町の自然環境の調査や保全に従事。環境省の準絶滅危惧種に認定された「タシロラン」を愛媛県で初めて発見したほか、松前町から管理委託されたビオトープにおいて自然環境教育を行うなど、普及啓発活動に尽力したことが評価されました。

平井さんは、「魚や草木などを自由に身近に感じられる環境を整えていきたい」と今後の目標を話していました。



*瑞宝双光章「郵政行政事務功労」
ふじむら・おさむ
藤村 長武さん
元四国郵政監察局香川郵政監察室長
88歳 宗意原

藤村長武さんに瑞宝双光章 高齢者叙勲

政府は3月1日付けで「高齢者叙勲」を発表し、本町からは元四国郵政監察局香川郵政監察室長の藤村長武さん＝宗意原＝が受章しました。

藤村さんは、昭和23年菊間郵便局に採用後、松山中央郵便局での勤務を経て四国郵政監察局に入局。四国管内の郵便局の業務監査などを通じて郵政事業の円滑な業務運営のために尽力しました。

藤村さんは受章に対し、「平成最後の年にこのような叙勲をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。

迫力あるマグロの解体ショー 松前港祭り

松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前港祭り」は5月3日、瀧姫神社周辺で開催されました。

祭りでは、マグロの解体ショーや魚のつかみ取りなどが行われ、子どもも参加したマグロの解体ショーでは、大きな頭部を小さな手で一生懸命に切断。大人にバトンタッチした後は、目の前で豪快に解体されていく様子に多くの人がくぎ付けに。解体されたマグロはその場で販売され、すぐに完売するほどにぎわいを見せていました。



利便性を向上させてリニューアル JR伊予横田駅駐輪場完成式

JR伊予横田駅駐輪場完成式は5月17日、同所で行われました。

駐輪場は、横田地区の要望を受け、伊予市と共同で既存の施設に電気設備と屋根を整備し、風雨時などの利用者の利便性の向上と夜間における防犯面の強化を図ったものです。

完成式では岡本町長が、「今後も利用者の皆さんの快適な環境整備に努めていきたい」と話していました。

差別のない社会を目指して 2019 明るい人権の町づくり大会

「2019 明るい人権の町づくり大会」は5月11日、文化センターで行われ約400人が参加しました。

開会行事では、人権・同和教育の推進のために尽力した、愛媛県人権対策協議会松前支部役員の森川雄繁さん＝大間＝に「松前町人権教育協議会表彰」が贈られました。

町内小・中学生による人権啓発ポスターや作文などの作品発表の後は、フレッシュ・リブまさきの西尾剛さん＝宗意原＝が、男女が平等に活躍できる環境づくりや意識改革の大切さを訴えました。

続いて、お笑い芸人として活躍中のスマイリーキクチさんがネット犯罪の被害者となった実体験を基に講演。ネット犯罪の恐怖は、誹謗中傷の書き込みをした本人に加害者意識がないこと、一度拡散すると削除は不可能で取り返しがつかなくなることだと訴え、参加者の皆さんは身近に潜む「言葉の責任」について真剣に考えていました。



㊦発表後拍手を受ける小・中学生
㊧西尾さんによる人権発表
㊨講演をするスマイリーキクチさん。自身の体験を語る





れんげ畑で笑顔も満開 第11回鶴吉れんげ草祭り

「第11回鶴吉れんげ草祭り」は4月28日、鶴吉れんげ団地で行われ、たくさんの人でにぎわいました。

鶴吉環境保全会の主催で開催された同祭りでは役員や婦人部の皆さんが、ぜんざいやパットライスで来場者をおもてなし。鶴寿荘の入所者の皆さんも参加して、おいしいぜんざいを頬張っていました。隣のれんげ畑では宝探しが行われ、参加した子どもたちは駆け回って楽しんでいました。

㊦子どもたちが応援する中、交代で餅つき ㊧れんげ畑で宝探し



観光ガイドがまさきの魅力を発信 レモンド松屋ファンクラブ事務局主催バスツアー

まさき—いいところ見つけ隊と松前町観光ガイドボランティアグループ「はんぎり」は5月10日、町内の魅力を巡るバスツアーで観光ガイドを務めました。

このツアーは、町のイメージソング「まさき色の風」の歌詞に沿って町内の名所を巡るもの。ガイドを務めた丸田さんと和田さんは、バスに同乗して塩屋海岸、瀧姫神社や福德泉などを巡りながら、まちの魅力を発信していました。

㊨額書「まさき色の風」の前で記念撮影 ㊩塩屋海岸ではんぎり競争の説明



㊪川側斜面を保護するシート張り工法
㊫降雨体験車で大雨の恐ろしさを体験
㊬協力して土のうを作る



まちを水害から守ろう 2019 重信川総合水防演習

国土交通省、愛媛県、重信川沿岸の3市2町が主催する「2019重信川総合水防演習」は5月12日、松山自動車道重信川橋下流右岸河川敷で行われ、本町からは、消防団、自主防災組織や松前消防署など約100人が参加しました。

水害による被害を地域の力で最小限に食い止めようといわれた同訓練。まずは自主防災会の皆さんが準備工として土のう作りを実施。その後消防団の皆さんは、シート張り工法や月の輪工法といった河川の堤防決壊を防ぐ訓練を実践しました。

このほか会場には、土のう作り体験や降雨体験などができるコーナーが設けられ、訪れた親子連れなどが楽しみながら防災について学んでいました。

参加した出作自主防災組織の弓達耕二さんは「訓練をするときは実際の災害時のように真剣に、実際に災害が起きたときは訓練時のように落ち着いて行動したいと改めて感じた」と話していました。